

SHARP®

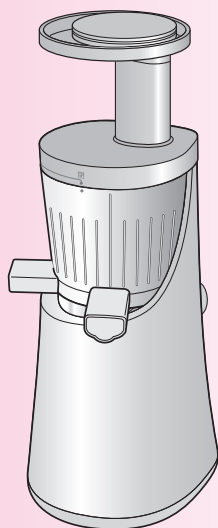
スロージューサー 家庭用

取扱説明書

形名

イー ジェイ シー エフ エイ

EJ-CF10A



HEALSIO

ヘルシオ ジュースプレス

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書(保証書付)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

●この取扱説明書(保証書付)は、いつでも見る事ができる所に必ず保存してください。

※業務用として、使用しないでください。

もくじ

ページ

はじめに	安全上のご注意	2
	使用上のご注意	3
	各部のなまえ・付属品	4

使いかた	組み立て方法(分解方法)	6
	ジュースを絞る	10
	フローズンを作る	12

必要なときに	お手入れ	14
	食材について	18
	故障かな？	20
	保証とアフターサービス	22
	仕様	22
	お客様ご相談窓口のご案内	23

裏表紙

HEALSIO ヘルシオ ジュースプレス

juicepresso

のロゴおよびヘルシオジュースプレスはシャープ株式会社の商標です。

製品登録の
お願い

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、〈SHARP i CLUB〉で
ご愛用製品の登録をお願いいたします。(登録無料)

<http://iclub.sharp.co.jp/m/>

スマートフォンや
携帯電話はこちらから



安全上のご注意 必ずお守りください

〇〇の数字は、主な説明のあるページを示しています。

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたで生じる内容を、次のように区分して説明しています。

 **警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。

 **注意** 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

 してはいけないこと。

 しなければいけないこと。

警告 感電や漏電、発火などによる事故やけがを防ぐために

分解・修理・改造はしない



分解禁止

- 自分で絶対に分解・修理・改造をしない (感電・火災・けがの原因) 修理は、お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。(23 ページ)

子供だけで使わせない



- 乳幼児の手の届く所で使用・保管をしない (感電やけが、小さな部品を誤って飲み込み窒息などのおそれ)

本体を水でぬらさない



水ぬれ禁止

- 本体を水につけたり、水をかけたりしない (感電・ショート・故障の原因)

異常・故障時には、直ちに使用を中止する



- すぐに電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する (発煙・発火・感電・けがのおそれ)
 - 電源プラグやコード、本体が異常に熱くなる。
 - コゲ臭いにおいがしたり、異常な音や振動がする。
 - タンクなどの部品にひびや破損箇所がある。
 - その他の異常や故障がある。

電源プラグやコードは、乱暴に扱わない 定期的にはこりを取り除く



- ゆるんだコンセントは使わない
- 傷んだ電源プラグやコードは使わない
- 傷付けたり、変形させない
- 収納時にコードを本体に巻き付けられない 無理に曲げる・引っ張る・ねじる・束ねる・重い物をのせる・挟み込む・加工する・高温部に近付けるなどをしない。(火災・感電・ショートの原因)
- 定格電圧(交流100V)以外で使わない



- 電源プラグは根元まで、確実に差し込む (発火の原因)
- 定期的に電源プラグに付いたほこりを乾いた布で拭き取る (ほこりがたまると、火災の原因)



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
- ぬれた手で電源スイッチを触らない (感電・故障の原因)

投入口などに指・スプーン・はし・清掃用ブラシなどの異物を突っ込まない



接触禁止

- 投入口・ジュース出口・絞りかす出口に指・スプーン・はし・清掃用ブラシなどの異物を入れて運転しない (故障・けがの原因)



注意 けがを防ぎ、家財などを守るために

安全な場所で使用する



- 丈夫で安定した水平な場所に置く
(騒音や振動、ガタ付きの原因)



- 不安定な場所で使わない
(落下によるけがや製品の破損の原因)
- 水のかかる所や火気の近くで使わない
(変色・変形・感電・火災の原因)
- 壁や家具の近くで使わない
(壁や家具の汚れの原因)

電源プラグは正しく扱う



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かない
(断線やスパークして、発火の原因)



- 電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源スイッチが「停止」の状態でおこなう (けがの原因)



プラグを抜く

- 部品の取り付け・取りはずし・お手入れは、必ず電源スイッチを「停止」の状態にし、電源プラグをコンセントから抜いておこなう
(感電・けがの原因)
- 使用時以外は、電源スイッチを「停止」の状態にし、電源プラグを抜く
(絶縁劣化などで感電や漏電・火災の原因)

その他

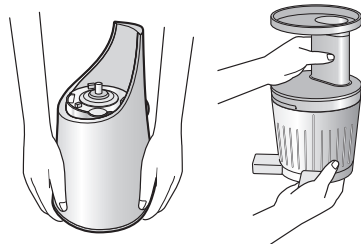


- 運転中に移動させない
(けが・破損の原因)
- 穀物粉碎用として使用しない
- カラ(食材なし)の状態です1分以上運転をしない
(破損の原因)
- 桃のような大きく固い種があるものはそのまま投入しない
(故障の原因)
- 運転中はフタを開けない
(けがの原因)
- 直射日光が当たる場所で使用、保管しない (製品の変色の原因)



- 移動させるときは、電源プラグを抜き、本体とタンクを分けて持つ
(落下によるけがや製品の破損の原因)

正しい持ちかたの例



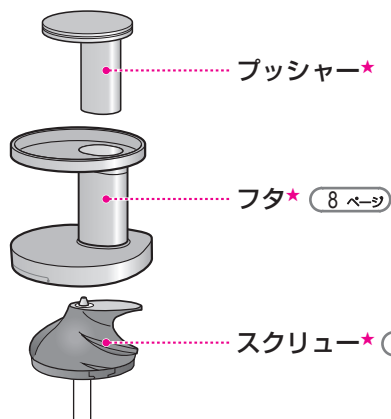
使用上のご注意

- ジュース用のフィルターとフローゼン用アタッチメントがあります。
必ず、用途に合わせて使い分けてください。
- 食材によって
 - ・ 絞りかすがタンク内に残ることがあります。
 - ・ 使用後タンクがはすれにくい場合があります。(水煮大豆、フローゼンを作るときなど)
 - ・ ジュースが分離することがあります。

各部のなまえ・付属品

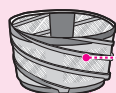
ご使用の前に、本体以外の部品を洗ってください

★は破損した場合、ご自分で購入・交換が可能な部品です。



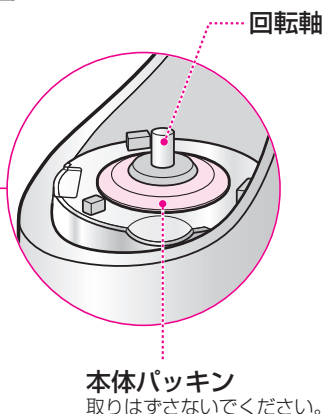
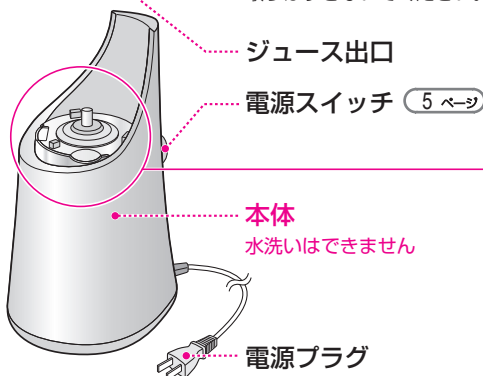
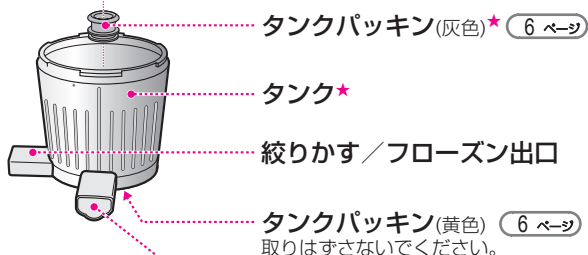
ご使用前に部品を洗ってください

- 分解するときは
組み立て方法 (6～9 ページ) と逆の手順でおこなってください。
- お手入れ方法は (14～17 ページ) をご覧ください。



ジュースを絞るときに

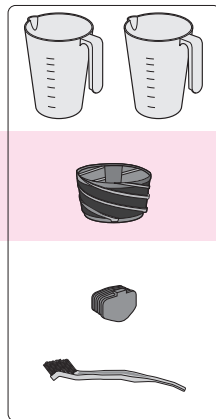
メッシュ部分に力を加えないでください。



付属品

- **ジュースカップ**(2個)[★] (最大目盛1400mL)
 - ジュース(フローズン)用、絞りがす用にお使いください。
 - 電子レンジ加熱不可。
 - 目盛りは目安のため、計量カップとしては使えません。

一緒に梱包されています



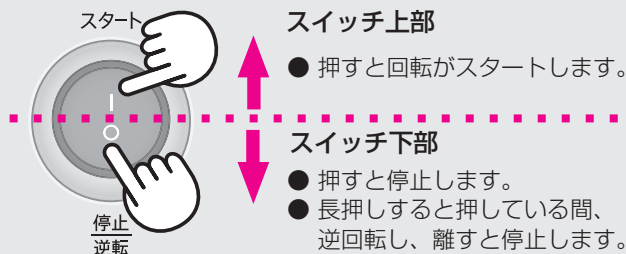
フローズンを作るときに

- **フローズン用アタッチメント**[★]
 - フィルターと交換して使います。
- **ジュースキャップ**(黄色)[★]
 - フローズンを作るときや、ジュースを絞ったあとのジュース出口の栓として、お使いください。
- **清掃用ブラシ**[★]
 - フィルター専用です。他の部品を洗わないでください。
- **取扱説明書(保証書付)**[★]
- **メニュー集**[★]

当商品は日本国内向けであり、日本語以外の取扱説明書／メニュー集はありません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

※ 本体・本体部品・付属品が、使用中に破損したり、紛失したときは、お買いあげの販売店やシャープ地区別窓口へご依頼ください。(有料) (23 ページ)

電源スイッチの使いかた(本体背面)



食材が詰まったときは、**逆回転**を使います (21 ページ)

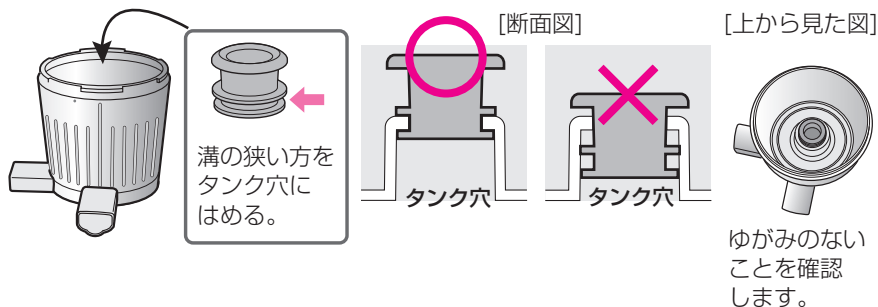
ご注意

- 電源スイッチには、液体侵入防止のため、カバーが付いています。このカバーは絶対に取りはずさないでください。

組み立て方法(分解方法)

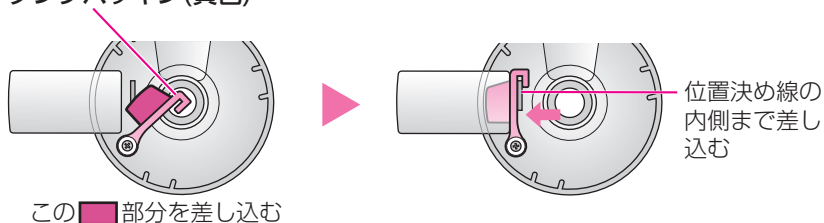
電源プラグを抜き、安定した水平な場所で組み立てます

- ① タンクパッキン(灰色)を取り付ける ※購入時は取り付けられています。

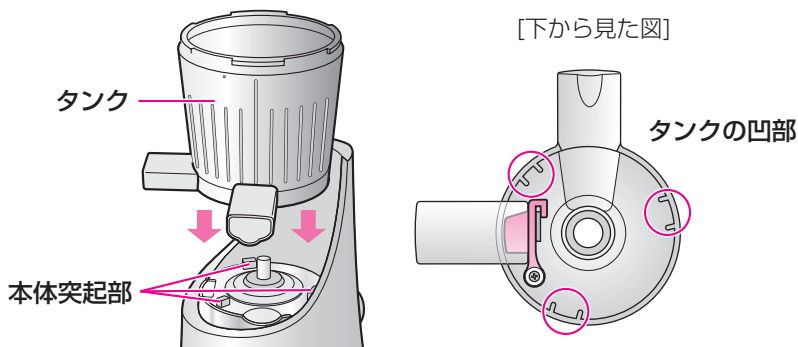


- ② タンクパッキン(黄色)を差し込む ※購入時は取り付けられています。
パッキンを水で少しぬらすと、差し込みやすくなります。
差し込みが不十分だと、ジュースやフロゼンが漏れるおそれがあります。

タンクパッキン(黄色)



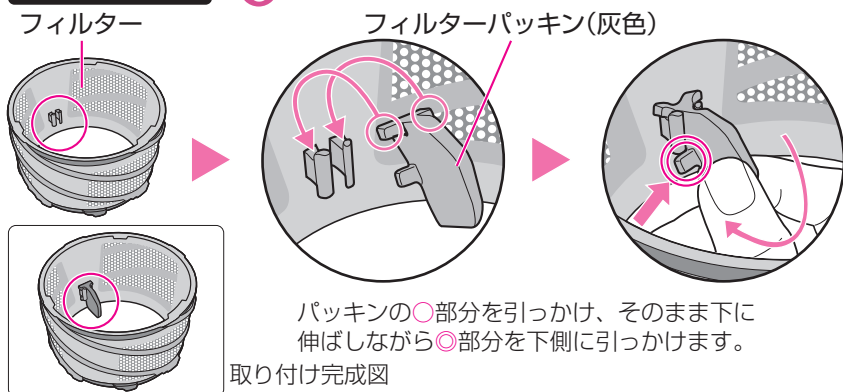
- ③ 本体突起部にタンクの凹部を合わせて、セットする



4 フィルターにフィルターパッキン(灰色)を取り付ける

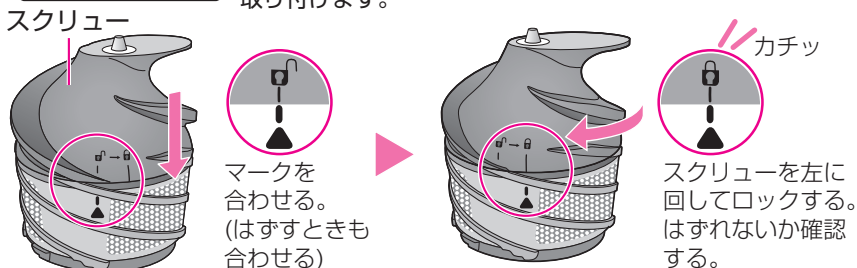
※購入時は取り付けられています。

フローズンのとき 5 に進みます。



5 フィルターにスクリーを取り付ける

フローズンのとき フィルターの代わりにフローズン用アタッチメントを取り付けます。

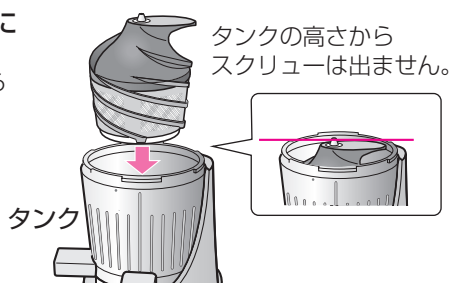


●マークを合わせず無理に取り付けてしまうと、はずれなくなります。

6 スクリューをタンク内の回転軸に差し込む

左右に回しながら、これ以上、下がらないことを確認します。差し込みが不十分だと、フタが閉まりません。

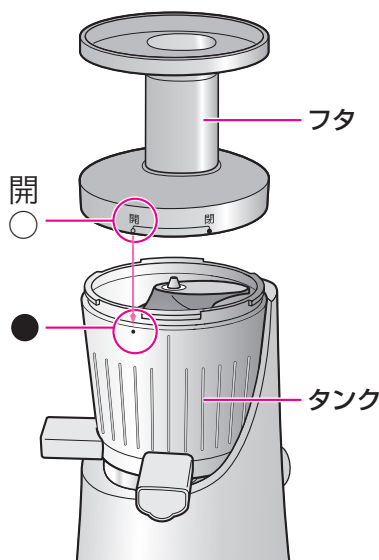
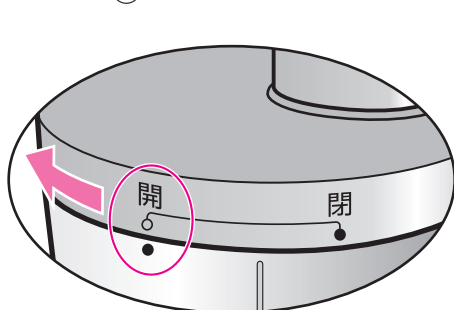
●スクリーとタンクのすき間に指をはさまないように、ご注意ください。



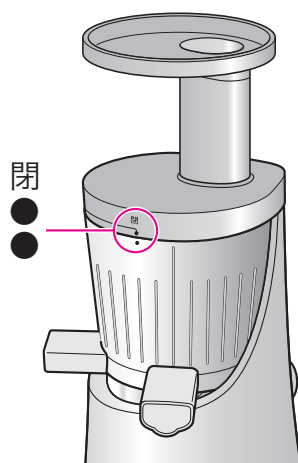
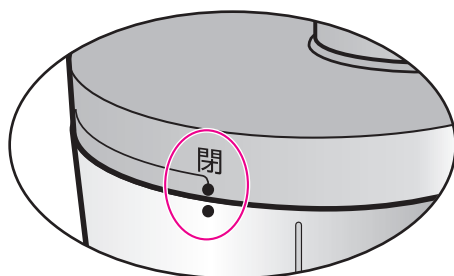
・・・組み立て方法 (分解方法)

電源プラグを抜き、安定した水平な場所で組み立てます

- 7 フタの ^開○ とタンクの●を合わせ、「カチッ」と音がするまで左に回す



- 8 フタの ^閉● とタンクの●を合わせる



大切 ▶ フタが正しくセットされていないと、電源が入りません。

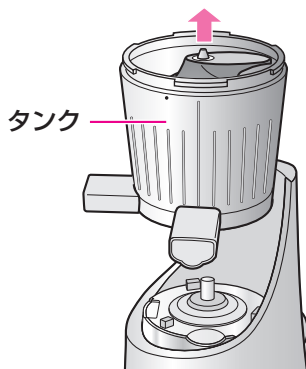
[組み立て完成]

分解方法

お手入れなどで分解するときは、組み立て方法と逆の手順でおこなってください。

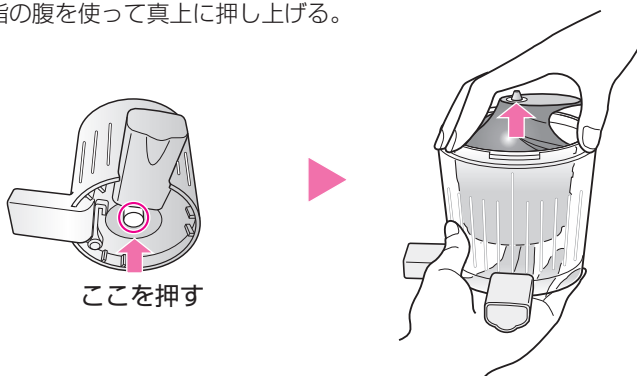
●スクリーがはずれにくいときは・・・

- ① タンクを本体からはずす。



● 本体が転倒しないよう、
ご注意ください。

- ② タンク底面から、スクリーを
指の腹を使って真上に押し上げる。



●フタが開かないときは・・・

(21ページ) をご覧ください。

ジュースを絞る



警告



投入口などに指・スプーン・はしなどの異物を入れて運転しない

【けが・故障の原因】

食材の下でしらはメニュー集4～6ページをご覧ください

1

セットする

組み立て方法 (6～8ページ)

ジュース用の
フィルターを
使います。



大切

● 漏れを防ぐために、
タンクパッキン(黄色・
灰色)が正しく取り付け
られていることを確認
してください。(6ページ)

2

ジュース出口と
絞りかす出口に
ジュースカップを置く

3

ジュースキャップ
をはずす



4

電源プラグを
差し込む



差す

ジュースカップ

このような食材は使えません！

故障の原因になりますので、絶対に投入しないでください。

- 氷 ● 乾燥大豆などの豆類 ● 桃などの種 ● 冷凍した食材
- 柿(種を完全に取り除くことができないおそれ)
- メニュー集に記載のない乾燥食材(部品の破損のおそれ)

大切 知っておいてください

- 食材を投入するときは、「少しずつ、5秒ぐらいの間隔で」がポイントです。
食材を組み合わせるときは、交互に投入するとジュースが出やすくなります。
- 食材の詰めすぎは、スクリーがスムーズに食材を取り込めずに、ジュースが出にくくなることがあります。詰まった場合は、食材を取り除いてお手入れしてください。
- 絞りかすがジュースに混じることがあります。気になる場合は、こしてからお召し上がりください。
- タンクの中に一度に大量の食材が入るとフタが開きにくくなります。

準備

少しずつ、5秒ぐらいの間隔で入れるのがポイントです



電源スイッチの「スタート」を押す

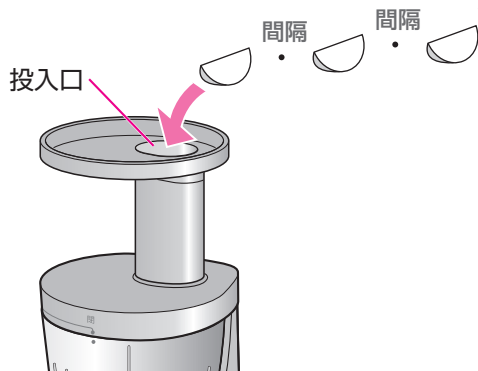
1



カラ運転を防ぐため
スタート後は、すぐに食材を入れて
てください。

食材を少しずつ、5秒ぐらいの間隔で 投入口に入れる

2



- 食材についてのご注意をお読みください。(18ページ)
- プッシャーは葉菜類などスムーズに投入しにくい食材をスクリューに落とし込むときにお使いください。多くの食材を一度に押し込むためのものではありません。
- 食材が途中で詰まったり、空回りしているときは、逆回転の操作をおこなってください。

(21ページ)

スクリューが食材をゆっくり取り込み、ジュースと絞りかすがそれぞれ出てきます。絞りかすが出にくくなってきたときは、一旦電源スイッチを「停止」し、食材を取り除いてお手入れしてください。

絞り終わったら、電源スイッチの 「停止/逆転」を軽く押し、停止させる

終了



- 電源スイッチの下部を強く押し込むと、逆回転が始まりますので、ご注意ください。
- ご使用後は、電源プラグを抜き、お手入れしてください。(14ページ)

ジュースを絞る

フローズンを作る



警告



投入口などに指・スプーン・はしなどの異物を入れて運転しない

【けが・故障の原因】

食材の下ごしらえはメニュー集18～19ページをご覧ください

準備

- 1** セットする
組み立て方法 (6～8ページ)
フローズン用
アタッチメント
を使います。



- 2** フローズン出口に
ジュースカップを置く

ジュースカップ

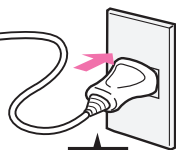
大切

- 漏れを防ぐために、タンクパッキン(黄色・灰色)が正しく取り付けられていることを確認してください。(6ページ)

- 3** ジュースキャップ
を必ず取り付ける

溶け出したフローズンが出てくることがあります。

- 4** 電源プラグを
差し込む



差す

- 5** 食材を冷凍室から出してほぐし、室温に2～3分置く
包丁でサクッと切れる固さが投入の目安です。切れない場合は、もうしばらく室温に置いてください。

このような食材は使えません！

故障の原因になりますので、絶対に投入しないでください。

・氷 ・桃などの種

大切 知っておいてください

- ジュース用のフィルターを使用して、フローズンを作るとフィルターが破損するおそれがあります。必ずフローズン用アタッチメントをお使いください。
- タンク内に食材が詰まりやすくなるので、食材を300g程度投入したら、タンク内をお手入れしてください。フローズンのでき上がり量が、ジュースカップの200mLを超えるくらいが目安です。
- タンクやフローズン用アタッチメントの中にフローズンが残ることがあります。残っているときは、ヘラ等やわらかいもので取り出してください。

少しずつ、間隔をあけて入れるのがポイントです



電源スイッチの「スタート」を押す

スタート

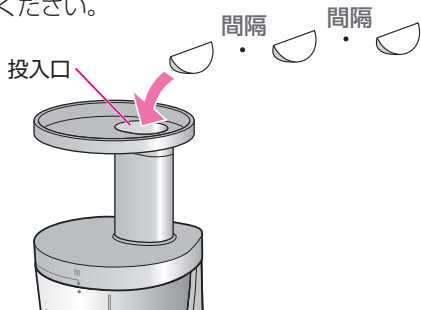
スイッチ上部を押す



カラ運転を防ぐため
スタート後は、すぐに食材を入れて
てください。

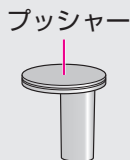
食材を少しずつ、間隔をあけて 投入口に入れる

食材がフローズン用アタッチメント部分に
引き込まれてから、次の食材を投入して
ください。



●食材についてのご注意をお読み
ください。(19ページ)

●プッシャーは
スムーズに投入
しにくい食材を
スクリューに
落とし込むとき
にお使いください。
多くの食材を一度に押し込む
ためのものではありません。



●食材が途中で詰まったり、空回
りしているときは、**逆回転の
操作**をおこなってください。

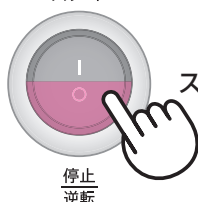
(21ページ)

スクリューが食材をゆっくり取り込み、フローズンがフローズン出口から出てきます。
スクリューの回転がゆっくりになったときは、食材の投入を一旦止めてください。
通常の速度に戻ったら、再び投入してください。

作り終わったら、電源スイッチの 「停止/逆転」を軽く押し、停止させる

スタート

スイッチ下部を押す



- 電源スイッチの下部を強く
押し込むと、逆回転が始まりま
すので、ご注意ください。
- ご使用後は、電源プラグを抜き、
お手入れしてください。(14ページ)
- タンク内に残った食材はヘラ等
やわらかいもので取り出して
ください。

フ
ロ
ー
ズ
ン
を
作
る

終
了

お手入れ

注意



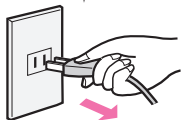
必ず電源プラグをコンセントから
抜いておこなう

プラグを抜く

【感電・けがの原因】

使ったら、早めに分解してお手入れを！ 分解方法 9 ページ

電源プラグを抜く



次のものは使わないでください

(塗装のはがれ・傷付き・変色・内部に液が浸透し故障の原因)



シンナー
ベンジン
アルコール



磨き粉
塩素系漂白剤



住宅用・家具用・
換気扇用合成洗剤
酸性・アルカリ性洗剤

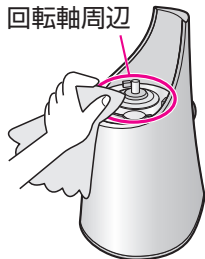


スプレー式洗剤
金属タワシ
硬めのスポンジ
メラミンスポンジ

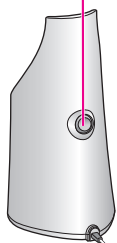
本体

固く絞ったふきんで水拭きする
水洗いしないでください

回転軸周辺



電源スイッチ



電源プラグ



回転軸周辺・電源スイッチ

スプレー式の洗剤を直接かけたり、
水分を多く含んだ布で拭かない。
(液が浸透し、故障の原因)

電源プラグ

乾いた布でほこりを拭き取る。
(ほこりがたまると、火災の原因)

お手入れ後は
よく乾燥させて
ください。



本体以外の部品

やわらかいスポンジで水洗いする



- 汚れが取れにくい場合は、台所用合成洗剤(中性)を使います。

タンク

フィルター

詳しい洗いかた (16～17 ページ)

食器洗い乾燥機などのご使用について

○ 使えます

各部品の耐熱温度を参考に、食器洗い乾燥機・食器乾燥器の取扱説明書をよくお読みになってからお使いください。

(必ず、絞りかすを取り除き予洗いしてください)



フタ
(耐熱温度 95℃)



スクリュー
(耐熱温度 200℃)



フィルター
(耐熱温度 200℃)



タンク
(耐熱温度 125℃)



ジュースキャップ
(耐熱温度 200℃)



ジュースカップ
(耐熱温度 90℃)



フローズン用アタッチメント
(耐熱温度 200℃)



清掃用ブラシ
(耐熱温度 95℃)



パッキン類
(耐熱温度 200℃)

× 使えません



プッシャー

ご注意

- 清掃用ブラシのブラシ部分はフィルター専用です。
(他の部分を洗うと傷が付くおそれ)
- 各部品は、食材の色素によって変色することがありますが、ご使用上問題ありません。早めにお手入れすると取れやすくなります。

汚れが気になるときは

ジュースキャップ・タンク・パッキン類は**酸素系**漂白剤が使えます。

お
手
入
れ

・・・お手入れ

使ったら、早めに分解してお手入れを！ 分解方法 9 ページ

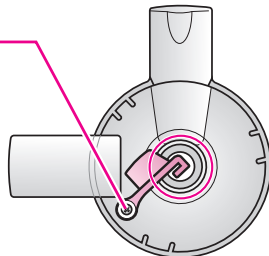
タンク

タンクパッキン(黄色)は、引き出して洗います。
タンクパッキン(灰色)は、抜き取って洗うことができます。

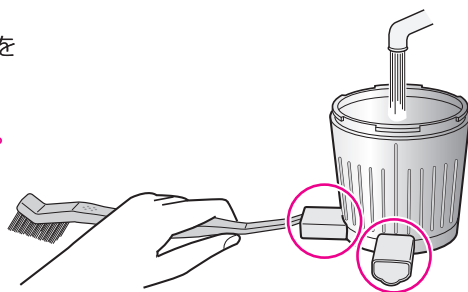
- ① タンクパッキン(黄色)の○部分をつまみ、引き出す。

[下から見た図]

ネジは、はずさないでください。



- ② やわらかいスポンジで水洗いする。
タンクの口は、清掃用ブラシの柄の部分
差し込んで洗う。
**ブラシ側でタンクを洗うと傷が付く
おそれがありますので、おやめください。**



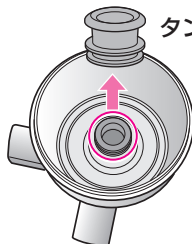
お手入れ後は、水気を取る

タンクパッキン(灰色)

[上から見た図]

- ① タンク穴から抜き取って、やわらかいスポンジで水洗いする。

タンクパッキン(灰色)



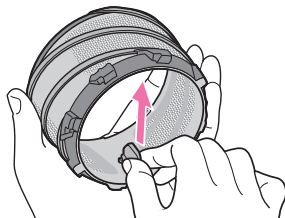
- ② タンクのお手入れ後は、タンクパッキンの水気も拭き取り、溝の狭い方から少しずつタンク穴にはめる。(6 ページ)

お手入れ後は
よく乾燥させて
ください。

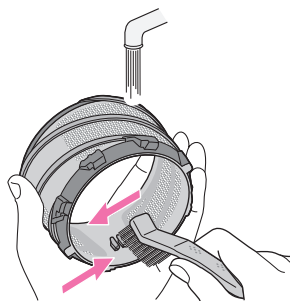


フィルター

- ① 内側に付いているフィルターパッキンを取りはずして洗う。



- ② 金属部分は、清掃用ブラシを使い、流水で洗う。



お手入れ

お手入れ後は、水気を取り、フィルターパッキンを元の位置に取り付ける。(7 ページ)

ご注意

- 取りはずしたジュースキャップやパッキン類は、放置せず元の位置に正しく取り付けてください。
(紛失や幼児による誤飲のおそれ、故障・ジュース漏れの原因)
- パッキン類は、ご使用のたびにお手入れしてください。
(カビや雑菌の繁殖のおそれ)
- しばらくご使用にならないときは、パッキン類をよく乾燥させてから保管してください。

食材について

メニュー集4~6、
18~19ページも
ご覧ください



ジュースを絞るとき 10~11ページ

新鮮な食材をお使いください

- みかん、オレンジ、レモンなどのかんきつ類
 - ・ 外皮をしっかりとむき、適当な大きさに分けてください。種や薄皮は付いた状態で投入できます。
- バナナ、パイナップル、キウイなど皮をむいて食べるもの
 - ・ 皮をむいてください。
- パイナップル、とうもろこしなど固い芯のあるもの
 - ・ 芯を取り除いてください。
- にんじん、大根、しょうがなど、皮も食べられる野菜
 - ・ 皮をむかずにそのまま投入できます。
- りんご
 - ・ ヘタを取り、くし切りにしてください。

※ りんごなど褐変しやすい果物は、ジュースにしたあと、時間の経過とともに茶色くなります。
- スイカ、メロン
 - ・ 皮をむいてください。
 - 種が付いた状態で投入できます。
- 桃など大きく固い種があるもの
 - ・ 種は取り除いてください。
 - 皮はむかずにそのまま投入できます。
- 小松菜、キャベツ、ケールなどせんいの多いもの
 - ・ 小さく切ってください。
 - ・ 小松菜、キャベツなどは、ジュースの表面に泡が立ちますが、そのままお召し上がりいただけます。気になる場合は、スプーンなどで泡を取り除いてください。

食材投入のポイント

- 食材を投入した際や、フタを取りはすすときに、果汁などが飛び散ることがありますので、ご注意ください。
- 水煮した大豆、バナナなどは水分が少ないため、水や牛乳と一緒に投入口に入れてください。水や牛乳と一緒に投入しないと、うまくジュースになりません。
- にんじんは、水分が少なく、せんいが多いので、絞りかすが多く出ます。
- 葉菜類を絞るときは、水分の多い果実と組み合わせると絞りやすくなります。
- 葉と茎のある野菜は、葉と茎を交互に投入してください。
- 小松菜やキャベツなどの葉菜類や薄切りにした食材は、スクリュウとタンクの間に入り込み、うまく絞れない場合があります。その場合は**逆回転**の操作をおこなってください。(21ページ)
- キャベツなどは、運転中に大きな音がする場合があります。
- 乾燥した食材は使えません。
大豆などは、あらかじめ加熱されたものや、十分に水に浸して柔らかくしたものを使用します。
- 小さな種(りんご・ぶどう・すいかなど)は、そのまま果肉と一緒に投入できます。
大きく固い種(桃など)は、取り除いてください。
- バナナ、キウイ、いちごなどは、果肉成分が絞りかすの方に多く含まれることがあります。

このような食材は使えません！

故障の原因になりますので、絶対に投入しないでください。

- ・ 氷
- ・ 乾燥大豆などの豆類
- ・ 桃などの種
- ・ 冷凍した食材
- ・ 柿(種を完全に取り除くことができないおそれ)
- ・ メニュー集に記載のない乾燥食材(部品の破損のおそれ)

フローズンを作るとき 12~13 ページ

あらかじめ冷凍させた食材を使います

- 食材を投入口に入る大きさに切り、フリーザーパックなどに入れ、食材が重ならないように平らにして冷凍します。投入前にくっついていている場合は、手で割ってから投入します。
- ヨーグルトなどやわらかいものは製氷機を使うと便利です。(水やジュースなどの液体は使えません)
- みかん、オレンジなどのかんきつ類
 - ・ 外皮をむき、種を取ってくし切りにします。薄皮をむくとなめらかに仕上がります。
- バナナ
 - ・ 皮をむいて、2cmの輪切りにします。
- パイナップル、キウイ
 - ・ 皮をむいて、芯があるものは取ります。
- りんご、パプリカ、トマト
 - ・ ヘタや芯、種を取ります。
皮をむくとなめらかに仕上がります。
- にんじん、かぼちゃなど
 - ・ 2cm角に切り、ゆでます。
- ほうれん草など
 - ・ ゆでて、2~3cm長さに切ります。
- 市販の冷凍果物
 - ・ そのまま使えます。
- 市販のカットフルーツ
 - ・ 皮や種を取り除きます。
- 缶詰
 - ・ 汁気をきります。

食材投入のポイント

- 冷凍室から出してすぐの食材は使えません。室温に2~3分置いてください。
包丁でサクッと切れる固さが投入の目安です。
- スクリューの回転速度がゆっくりになったときは、投入を一旦止めてください。通常の速度に戻ったら、再び投入してください。
- 固い食材は、運転中に大きな音がする場合があります。
- 投入口をのぞきこまないでください。(食材が飛び出すおそれがあります)

このような食材は使えません！

故障の原因になりますので、絶対に投入しないでください。

● 氷 ● 桃などの種

ご注意

- 食材の鮮度や収穫時期によって、ジュースの量は変わります。
- ジュースを絞るとき、食材は少しずつ、5秒ぐらいの間隔で投入してください。
- 一度に大量の食材を入れないでください。詰まって止まることがあります。(運転途中で停止したとき(20ページ))

故障かな？

修理依頼やお問い合わせの前に
もう一度お調べ
ください



こんな場合	故障ではありません
動かない (電源が入らない)	●電源プラグが抜けていませんか？ ●フタを正しくセットしていますか？ (8 ページ) ▶ フタの  とタンクの●を合わせ、「カチッ」と音がするまで左に回してください。正しくセットしていないと、電源スイッチを押しても動作しません。
運転途中で停止した (電源が切れた)	●フタは閉まっていますか？ 電源スイッチを「停止」にして、フタを「カチッ」と音がするまで閉め直してから、「スタート」を押してください。 ●食材を多めに入れていませんか？ 逆回転の操作をおこなってください。 (21 ページ) ●20～30分連続して運転していませんか？ 食材を入れすぎたり、長時間の連続運転をすると、モーターの保護装置がはたらき、自動的に停止します。 停止した場合は、次の操作をしてください。 ① 電源スイッチを「停止」にする ② 電源プラグを抜く ③ 食材を減らす(取り出す)…フタが開かないとき (21 ページ) ④ 電源プラグを差し、電源スイッチの「スタート」を押す 電源が入るまで5分程度かかることがあります。 ▶
運転中にタンクや本体が揺れる	●タンクと本体が分離式のため、置き場所や電源スイッチの切り替え、負荷の大きな食材の投入などで、少し揺れることがあります。 ▶
絞りかすに水分が多い	●フィルターが詰まっていますか？ (お手入れ (17 ページ)) ▶
運転中に大きな音をする	●モーターやスクリューが回転する音です。 大きく感じるがありますが、異常ではありません。 食材や投入スピードによって音が変わります。 ▶
運転中に「ウーン」などのうなり音をする	●食材をゆっくり少しずつ入れていませんか？ ●フローズンの場合は、包丁でサクッと切れる固さの食材を入れていますか？ 入れるときは、食材がフローズン用アタッチメント部分に引き込まれてから次の食材を入れてください。 ▶
タンクと本体の間隙からジュースが漏れる	●タンクパッキン(黄色・灰色)が、正しく取り付けられていますか？ (6 ページ) ▶

こんな場合	故障ではありません								
フタが閉まらない	●タンクパッキン(灰色)を正しく取り付けていますか？ (6 ページ) ●スクリュウとフィルター(またはフローズン用アタッチメント)が正しく取り付けられていますか？ (7 ページ) ●スクリュウをタンクにしっかりと差し込んでいますか？ (7 ページ)								
フタが開かない	●タンクの中に食材が詰まっていますか？ 下記逆回転の操作をおこなってください。 ●フローズンのときは、少し時間をおいて再度フタを開けてください。食材が溶けると開けやすくなります。								
スクリュウ、フィルター、フローズン用アタッチメントに傷がある	●傷のように見えるものがありますが、製造時に発生するもので、ご使用には差し支えありません。								
ジュースが出ない ジュースの量が少ない	●食材を投入するときは、少しずつ、5秒ぐらいの間隔で投入していますか？ ●絞り初めは絞った食材がタンクの中に残るため、投入する食材が少ないと、ジュースが出てこない、またはできあがり量が少なくなることがあります。 ●葉菜類など、食材によっては運転途中でジュースが出にくくなる場合があります。 下記逆回転の操作をおこなってください。 ●食材500gを投入したときのジュースの量の目安 <table border="1" data-bbox="414 975 684 1098"> <tbody> <tr> <td>りんご</td><td>約300g</td></tr> <tr> <td>にんじん</td><td>約150g</td></tr> <tr> <td>小松菜</td><td>約250g</td></tr> <tr> <td>オレンジ</td><td>約300g</td></tr> </tbody> </table> (食材の鮮度や収穫時期によって、ジュースの量は変わります)	りんご	約300g	にんじん	約150g	小松菜	約250g	オレンジ	約300g
りんご	約300g								
にんじん	約150g								
小松菜	約250g								
オレンジ	約300g								

逆回転の操作

- ①電源スイッチの「停止／逆転」を軽く押し、停止させる。
 - ②「停止／逆転」を長押しし、数秒間逆回転する。
 - ③指を離して逆回転を停止させる。
 - ④「スタート」を押す。(この操作をしないで分解すると、スクリュウのロックがはずれることがあります)
- ※それでも正常に動かない場合は、電源スイッチを「停止」にして、電源プラグを抜きます。タンクを本体からはずし、安定した場所に置いてスクリュウを抜き、残った食材や詰まったものを取り除いてお手入れしてください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理を依頼されるときは

持込修理

- 1 「故障かな？」(20～21ページ)を調べてください。
- 2 それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてください。
- 3 お買いあげの販売店に、ご連絡ください。

この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。また、アフターサービスもできません。

保証期間中

- 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- 修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

- 修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

保証書(一体)

- 保証期間…お買いあげの日から1年間です。

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

※一般家庭用以外(例えば、業務用、車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障・損傷など有料です。

補修用性能部品の保有期間

- 当社はスローユーザーの補修用性能部品を製品の製造切後、7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検



長年ご使用の場合は商品の点検を！
こんな症状はありませんか？

- 電源プラグやコードが異常に熱くなる。
- コゲ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がする。
- 触れるとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

仕様

電 源	交流100V 50-60Hz共用		
定格消費電力	100W		
外形寸法※1	幅150mm×奥行177mm×高さ425mm		
質 量	約4.7kg		
1分間当たりの回転数	32回転※2	運転時間	連続30分※3
1時間当たりの待機時消費電力量	約1.0Wh	電源コードの長さ	約1.4m

※1 絞りがす出口、ジュース出口を含みません。

※2 32回転は、負荷が20Nmのとき。無負荷または軽負荷のときは、約56回転です。

※3 30分以上使用する場合は、30分ごとに5分程度停止させてください。

ただし、固いにんじんや、水分が少ない水煮した大豆、食物せんいが非常に多いしょうがは、連続20分以上の運転をしないでください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。



使用方法のご相談など【お客様相談センター】おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間 (年末年始を除く) ●月曜～土曜：9:00～18:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120 - 078 - 178

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570 - 550 - 449

Webサービス(24時間対応)は、

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電話	FAX
06 - 6792 - 1582	06 - 6792 - 5993
〒581-8585 大阪府八尾市北竜井町3-1-72	

シャープ お問い合わせ

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/>



修理のご相談など【修理相談センター】おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間 (年末年始を除く) ●月曜～土曜：9:00～20:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120 - 02 - 4649

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570 - 550 - 447

Webサービス(24時間対応)は、

シャープ 修理相談

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/repair.html>



持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口(サービスセンター/テクニカルセンター)でも承っております。

受付時間 (祝日など弊社休日を除く) 月曜～金曜：9:00～17:40 ただし、★印の窓口は 月曜～土曜：9:00～17:40

北海道	★札幌 011-641-4685 〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17	中部	★名古屋 052-332-2623 〒454-0011 名古屋市中川区山王3-5-5	中国	★広島 082-874-8149 〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
	★仙台 022-288-9142 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27		静岡 054-344-5781 〒424-0067 静岡市清水区島坂1170-1		★高松 087-823-4901 〒760-0065 高松市朝日町6-2-8
関東	宇都宮 028-637-1179 〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41	近畿	金沢 076-249-2434 〒921-8801 野々市市御経塚4-103	九州	★福岡 092-572-4652 〒812-0881 福岡市博多区井田2-12-1
	★東京都 03-5855-0432 〒114-0012 北区田端新町2-2-12		阪神 06-6422-0455 〒661-0981 尼崎市猪名寺3-2-10		★那覇 098-861-0866 〒900-0002 那覇市曙2-10-1
	千葉 043-298-5681 〒262-0013 千葉市花見川区彌生町1629-4		★大阪 06-6794-5611 〒547-8510 大阪市平野区加美南3-8-25		●お電話は番号をよくお確かめの うえ、お間違いのないようにお かけください。 ●所在地・電話番号・受付時間な どについては、変更になること があります。(2015.04)
	横浜 045-753-4647 〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23		京都 075-672-2378 〒601-8102 京都市南区上鳥羽善田町48		

保証とアフターサービス／仕様

お客様ご相談窓口のご案内

お問い合わせ先

お問い合わせの前にもう一度「故障かな？」(20～21ページ)をご確認ください。

- お客様で相談窓口からのお問い合わせ (23ページ)

Webもご活用ください。

- シャープ お問い合わせ  <http://www.sharp.co.jp/support/>



Q&A情報

よくあるご質問などを掲載



ピックアップ情報

特にお問い合わせの多い情報を掲載

シャープ株式会社

本

健康・環境システム事業本部

社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号

〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号

Printed in Korea

TINSZA006WBRZ 15J- (KR) ③